

事務事業名 中学校ナイター施設運営事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：716

施 策：	04	スポーツの振興	財務コード	01090702-01-610
基本事業：	01	スポーツ施設の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	スポーツ施設満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ施設担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和53年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		（施設名） ・ 筑紫野中学校グラウンド ・ 筑山中学校グラウンド  （開放時間） 午後7時から午後10時まで  （開放曜日） 月曜日から土曜日まで  （申請手続き） 勤労青少年ホームで受付 使用許可申請書を提出 使用許可書を受領 グラウンド利用				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
ナイター照明設備のある中学校のグラウンドを開放し市民に夜間のスポーツ活動の場を提供することで、生涯スポーツの推進を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
筑紫野中学校ナイター施設利用者数	人	3,016	6,572	3,000	6,000			3,000
筑山中学校ナイター施設利用者数	人	3,016	2,654	3,000	3,000			3,000

5. コスト								
事業費	計	千円	50,858	1,176	1,418	1,491		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	17,383	1,176	1,374	1,440		
	一般	千円	33,475	0	44	51		
正職員人工数		人工	0.4	0.6	0.6			
正職員人件費		千円	3,126	4,814	5,029			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	53,984	5,990	6,447	1,491		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	状況 筑山中学校グラウンドの利用者数は減少したが、筑紫野中学校の利用者は昨年度より増加した。 原因 筑山中学校グラウンドは、夜間照明改修事業（LED化）に伴い使用中止期間があったため、利用者数は減少した。筑紫野中学校は、中学校サッカー大会の会場として使用されたことで利用者数が増加した。また、令和5年度にナイター照明をLED化したことで照度の明るい環境でスポーツをすることができるようになったことも利用者増の要因の一つと考えられる。 天候により利用できない日もあるため年度によって利用者数は増減する。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	昼間にスポーツができない市民が、夜間にできる身近なスポーツ活動の場として有効であると考えます。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄						
昭和53年から使用開始。 昼間にスポーツができない市民が、夜にスポーツが出来ることによって心と体の健康を養い生涯スポーツ社会の実現に貢献する。								